



転換期に立つ町政

産業経済重点主義による富民政策へ

新町が充足して満二年、その間町政の足跡は外形的には洵に華々しいものがあり、その労は高く評価されるべきものであります。

熊町中学校の屋内体操場、大野中学校舎、役場庁舎等合併當初の計画による物的施設の殆んどが完成し、今又大野小学校舎、町営住宅(二〇戸)の着工を見、明春の本會計年度内には落成を見るわけで、其の巍然たる威容を都下に誇り得ることは、一に町民の皆様の愛町の精神に基く御協力の賜物と深い感謝を捧げる次第であります。

新教育委員任命さる

根本委員長町民の協力要望

左の如く十月一日付発令を見。根本ハツノ、栃久保茂(以上四年)。(二年)川村安宏。(一年)石田佐久。尚五選の結果、根本委員長が委員に就任。教育長は當分、根本委員長兼任となつた。

所 番 1 番 清 所 番 8 番 大 熊 町 公 民 館 報 西 印 浪 江 電 話 5 8

昭和三十一年度予算編成時、要望の一番大きかつたのも産業経済委員提出の産業経済関係費であり、又一番削減の浮目を見ましたのも該予算であり、これを想起するものであります。

然らば転換期に立つべき本質的第二次建設とは如何なるものでありましようか。御承知の如く幾多の施策がありますが最も重要であり基盤的なものは町民の豊かな生活の爲への富民政策であり産業経済の計画的振興であります。

夢より現実へ

理想は高く實行は着実に

去る十一月の新聞に「青田を賣る農民」と云う記事のあったことを御存知の方があるかと存じます。自分の収入を考へず、身分不相應の文化生活を夢見、電気洗濯機、簡易水道、風呂場、台所の改善と多額の出費を要し其の穴埋めが出来ず、秋の収穫も目下、青田を人手に渡す破目になつたこと、豊作を夢見て身分不相應の文化の夢を追つた末路であるを報じて居りま

行政苦情相談所とは

一口は云えば、国の行政事務に關する皆様の不平や、行政の不合理のため困つて居る事があつたり、又官庁でやむやむにされてお困りの方々の爲に相談の権限内の事柄について御相談にのり出来るだけ解決を図つて御力添えをする所です。苦情の範囲は行政監察の対象となる役所の業務に關連するものに限られます。

農業感謝祭

感謝祭農作物品評会出品物の審査結果は左記の通りであった。(一、二等のみ) 一般の部 一等(米) 鎌田忠次郎。(梨) 山内貞義。(大根) 阿部久七。井戸川郁子。(蒟蒻) 石田勝。松本(み)の。佐々木林。松本(二、等) 米) 志賀昇。(大豆) 沢内(米) 藤森重喜。(白) 藤本。横山桂三。(大根) 石田勝。(み)の。佐々木林。松本(ま)の。堀川シズ。(桑苗) 宮本。井手快一郎。小林芳家。川木政敏。金沢。吉岡キイ。木幡春治。学校の部 一等(大根) 志賀豊衛。新長キク子。(白菜) 赤井正子。黒木信子。二等(かぶ) 西内敏子。(大根) 中屋登子。谷津田親義。(大根) 美恵子。折笠芳子。宇佐見豊子。(方領) 志賀悟。幾橋朝子。(方領) 栃久保行重。

働き手失つた家へ

熊中二年一組の善行

大字熊字内城農中野悦子さん(三七)方の稲刈はこのほど片づいたが、働き手のない一家のため、長男純一君(二三)の級友や地区の人たちが大勢出て手伝い明るい話題をなげてる。



熊中二年一組の純一君の級友が、熊中二年一組の純一君の級友を利用して、農作業に出た後、級友が交替で作業に出たので、地区の方々が加勢して一町歩の刈取りがすすむと、純一君のお父さんは去る八月手傳いに行つてあやまつて屋根から落ちて不慮の死を遂げた。稲刈もはかどらず困つて居る級友達が自主的に応援することを申し合せておられる。

◇ 本当の意見は 云うのは難かし い。一中学校は一つにまとめた方がよい。経費は少なくすむし、設備は充実出来るし、各学科毎に立派な専門の先生も頼めるし、第一町内の子弟が同じ学校で勉強するし、将来町内の和合も良くなるし、でもね、なか／＼云い出せないんだよ、差し障りが多くてね。或る有識者会合での話。民主主義は他人の考えを、すなおに聞き、自分の考えを卒直に発表する事から始まる。

新農村建設への歩み

農業経営モデル部落として

共同体制へ

部落の盟友と農事研究会を作つて五年になる。結成が二十六年、翌年農友会と改称し目立ない年を少しずつ歩み続け本年度、縣より農業改良モデル部落の指定を受けた。昭和二十七年部落相談の結果共立式動力撒粉機を導入したが、部落共有の物としては双葉郡で最初だといわれた。これに依つてそれ迄猖獗を極めた菌核病と稻熱病が潜伏して相當な成績を挙げた。その結果、消毒は作物栽培に必須な要素であるとの觀念が植えつけられ共同体制による消毒への素因を作つた。

事業の跡

結成以来の主な事業を列記すると①健苗育成—今迄水苗代一点張りて坪五〜六合時にて線香の様な苗を作つていたが折衷と短冊揚床、薄時きを目標とし年々部落の人達に働きかけその目標を達成した。②酸性土壌の改良—故坂本技師の在任中酸土検定の結果、

增收共進会の結果判る

三十一年度大熊町農作物総合增收共進会の結果が判り十一月二十五日夫々表彰された。

特等	夫沢三三	八八四、二点
特等	熊一	三八八、四二点
特等	熊二	三四六、二点
特等	熊三	二九八、七
特等	熊四	二八六、四
特等	熊五	二六九、五
特等	熊六	一七、三
特等	熊七	六〇、三
特等	熊八	五七、六
特等	熊九	五二、〇
特等	熊十	四八、六

特等	佐々木義光(夫三)	一水稲、大豆、裸麦
特等	志賀金一(熊二)	一水稲、大豆

その後(讀書グループ)

モデル部落の指定を受けてから急に我々の活動は活潑となり、今迄毎月例会を開く約束が今年になつてからの集りは平均月二回大低夜だが十二時前散会した事は無い。場所は今迄特定の家に限られたが先月から輪番制にした。農友会員も十六名に増し最高令者は五十才を越し平均年令三十六才出席率九割を割つた事なく欠席は止むを得ない事情ある場合丈である。此の集りで各家庭で購置して居つた家の光の部数を減らしその数だけ他の農業雑誌を購つて数種の本を交換し合ひその討論をすることとした。

今後の目標

今後我々の方針は農道を拡張して努力を軽減すること—生産力の低い畑作を稲作の線まで引上げること—各戸の経営方法を打診し適地適作に依る養畜、果樹、特用作物の合理的組合せによる立体多角経営にある。

不退轉の意志こそ光明への途

途は遠く容易ではないが「研究とは問題を解決する事である」といふ作りにある。といわれ、時に懐疑的の念が湧くが杉田玄白の「蘭学事始」にある様に始めは困難でもだん／＼容易になる事を思ひ一条の光明を目標にまつしぐらに着實に不退轉の意志と覺悟を持続することを誓ひ合つた。

特等	猪熊明(熊一)	一水稲、大豆
特等	佐藤祐(小良浜)	一水稲、大豆、馬令薯、裸麦

越冬農作物の管理

「中耕」なるべく浅く寒害を防

逆轉した稲作も稻熱病の一齊防除で積平年作にこぎつける様だが部落によつては青立冷害の洗礼で予約米の供出変更も多く約一千石の減少—秋冬作管理の徹底が目前対策の急務



「中耕」なるべく浅く寒害を防

「土入れ」軽鬆土や霜柱の害を受け易い地又は草出来すぎのものは少量(五分内外)一回か二回行うのがよい。普通の土壌は一回、重粘土の地は寒害の憂ある場合少量分蘖促進の意味で覆土の浅い場合は一—二回

「麦踏」元長生育を抑制し根の繁茂と分蘖の促進を図り霜柱の害を防ぎ寒害に対する抵抗力を強くするのであるから土壌の状態と生育等により実施する、なるべく土直後がよい。

「追肥」遅播のときは回数多く年内に本葉一—二枚頃一回十二月に草木灰を反当十位位施す。小麦の場合病害を誘発することがあるので控目に施す。

「果樹の施肥、玉葱の管理」今迄述べたことを把握利用の上の外冬期間「優良堆肥」を生産して冷害でも安全多収の出来る農業経営の進路を明確にしたものであります。

果樹を作る人へ

栽培入門

果樹は全国的に戦前の二倍或は三倍、増殖は熱病的様相を示し止む事知らぬ。時代の要求でもあるが良すぎたからである。然しこれからは別だ適地に充分の施設をして最高の生産を挙げねば自然淘汰に落され仕舞う。最後の勝者となる為には當地では先ず強風より保護する防、破風の設置育成から始め袋樹した袋を保護し果実の脱落を防ぎ土壌の風蝕から護り度い。桃の如き強風に晒される所では望みが無い。

次は適品種を選び植える事になるが反當栽培本数が問題だ。けな植方は採らぬ事、八本から十八本で充分、これ以上植えると先人の失敗を真似る事になる。植穴は桃で二間四方、梨で一四四方、深さは共に二尺五寸以上の大穴を掘り下の方に丸太のような材料を入れ土と交互に踏み固め乍

五年目には三箱以上は採れる既にうえてある畑で予定の成長に達しないものは周囲を深掘りして粗大有機物を多量に入れ明春接ぎ直して新梢を得るから直しする等して大改造を施さなければ見込無煙が多い。今からでも遅くない。思い切つてやる事だ。次に種類品種を如何に採り入れるか同一の畑にも梨、桃、りんごの適地がありその内又品種の適地があり最適の地といものはざらにあるものでない。梨では八雲、長十郎、二十世紀が果の奨励品種、桃は布目、倉方、白鳳、高倉、新玉、高陽で大久保時代は過ぎつゝある。りんごは旭、スター、ゴールド、以上は品種以外はうえないこと。種類品種も畑について充分調査の上適品種を選びたい—以上充分書き盡せないが新植者は研究会に入会、果樹園芸協会の指導を得る様望みたい。尙養賢堂並に朝倉書店発行の浅見與七棍原實、森英男、小林章、長沢勝男、大崎守諸先生の著作をお奨めしておきます。

養蚕の回顧

32年度前進の為に

春蚕は非常に良く、初秋蠶も良好であつたが晩秋蠶は悪天候のため全国的にあまり良くなく本町においても晩秋蠶はあまり良くなかつた。

○下野上組合
あまり良くなかつた。

○野上第一、二組合
繭は土から生れると云うが土地が良い為か成績は良い、ことに糸量が多い点が証明する。

○大川原組合
昔より成績が良い組合である。それが今年も上々。

○熊組合
① 郡下のトップを切り共同飼育所を設置し今年で五年目である。

② 石田トヲ氏、横田一氏を主任として昼夜寝食を忘れて飼育に當つて居る、昨年は八〇〇貫、今年は一、二五〇貫を生産した。

③ 晩秋蚕は相當の遺棄を出したが此の貫数を收納したのは組合長石橋求馬氏の熱意である。

○熊川組合
① 今年町当局の熱意ある助成があり電床飼育所を設置したので互收購量に於ても優秀

熊小生徒の努力実る

十一月十一日双高において第三回郡内小、中学校球算競技会が行われた。小學校の部は五十余人が出場して日頃鍛えた技を競つたが、熊町小學校チームは昨年につゞいて輝く



珠算競技会に二年連続優勝連続優勝を挙げた。熊小チームは五年生が主体で四年生からの一年余りの努力が実つたもの、目下更に來年度への優勝をめざして練習に勵んで居る。競技会成績次の通り。

○団体総合 才一位 熊小Aチーム(小林茂一、末永充子、浜本操子)

○個人総合 ②末永充子

③小林茂一

④個人競技 ①見取算 ①末永充子 ②浜本操子 ③乗算 ①小林茂一 ②浜本和夫 ③除算 ①浜本操子 ②末永充子 ③末永充子 ④讀上算 ②末永充子 ③末永充夫

(写真は賞状を手に喜びに湧く生徒達、背後は教員の親左白土俊三、右渡辺祐幸両先生)

公民館物語

一体何をする処なんだい

何うして出来たか。

公民館の名前が今の様な意味で用いられたのは二十一年四月安部文部大臣の時です...

- (1) 民主的な社会教育機関... (2) 町民の社交機関... (3) 産業振興の原動力... (4) 民主主義の訓練所... (5) 文化交流の場となるべき... (6) 特にならぬ青年の積極的協力が大切... (7) 郷土振興の機関...

▽町公民館の歩み
戦後十年世界は轉換期といわれ、公民館が七月に発足した...

青年會の優秀な演劇見せました。
青年會の活動は、部分的に、も少し努力出来なかつた...

▽青年団長様
青年より
青年會の優秀な演劇見せました。...

青年様

お激励有難う御座いました。
今後は自己練成と同志獲得に一層の努力を傾け、理想青年会を目指す処なんだい

公民館が七月に発足して以来、一つの目標は町の融合強化でありました。...

戦後十年世界は轉換期といわれ、公民館が七月に発足した...

高校卒業までいくらかいるでしょう

戦後子供増加が著しく、各家庭大變苦勞して居りますが、誕生から高校卒業まで一体どれ位かかるでしょうか...

Table with columns for expenses (食費, 衣料費, 教養費, 其の他, 計) and rows for various categories (一, 二, 三, 四, 五, 六, 七, 八, 九, 計).



愛児を送り出して... 今日も「行ってらっしゃい」

名は態をあらわすか

野上の道にきたえたる

合併當初「大野町」とすべきか「大熊町」にすべきかについて...

大熊町の歴史、地名の由来、合併の経緯に関する詳細な記述。

蹄

- 八月二十四日 大川原青年団誌書グループ結成に踏み出す
八月二十五日 夫沢第一区公民館で分館設置の部落集会開かる

- 十月一日 原町市に於て婦人指導者講習会開催
十月二日 大川原町人会主催の公民館後援



苦麻川

歴史は古きが故に尊しと... 長いが故に価値ありと... 滅びたりとは云え...

歴史に於ける生命と

人間の一生を最も簡単に定義するならば母の胎内を離れてから呼吸を引きこるまで...

史観断片

維新か革命か

注入し歴史の衰弱より恢復せしめる事は常に要求されて...

短歌

杉内 梅風

菊の香の漂う庭の日だまりに... 疲れをいやす午のひととき

俳句

藤 盛子

母の日やわれら二人の母在す... 午後の日の漸く強し金魚売

胸はずませせて

(片浜廻り見学旅行の巻)

十月十一日午前六時。参加者五二名。大野中学校長渡辺先生、公民館主事吉田さんのお見送りを頂き双葉美容院の前を女学生の様に胸はずませせて...

海道三國誌 (2)

吉田 農夫雄

第二節 大化改新前後の状況

蝦夷の反乱と朝廷の対策... 何時になつても強者對弱者の行き方は同じ様な対策をするの...

律令國家の成立... 經濟關係の均衡が破れると、一部の専横となり外交問題ともからんで制度改変の導火線...



熊町虚空藏... 夫沢にあり、高さ九尺四寸、嵯峨天皇の時天下に疫病あり。弘法大師諸國に五大神を建立した一つと云う

放送室

大熊町教育委員... 会は十二月... 予定。

改新の波動

日本海方面では改新の動搖に乘じ反亂した蝦夷討伐の為齊明天皇(三十七代)の朝、越の国司阿部比羅夫(武津足別命の子孫)が命を受け海路、秋田、津軽を平定し北海道から沿海州まで行き肅慎まで討ち越の國の津足、磐舟の根拠地を進めましたので、用明天皇(三十八代)の和銅二年(五年ともいふ)には陸奥の十二郡を劃いて出羽國が置かれ左大辨巨勢朝臣鷹が鎮守府將軍紀朝臣諸人が副將軍となりましたが同年七月、上毛野朝臣安鷹が陸奥守に任ぜられました。



○のりの秋を迎え日夜のお働らきに敬意を込めてお送りいたします。第二号をお届け致します。お願ひのひと、ご御案内様お隣り皆様で読み合ひたいと思つてお送りいたします。お願ひのひと、ご御案内様お隣り皆様で読み合ひたいと思つてお送りいたします。